

令和2年度

# 札幌市の研究活動

札幌市小学校長会 研究部長

札幌市幌南小学校 大牧 眞一

## 1. はじめに

札幌市小学校長会は、2年間に渡り、札幌市の教育施策との関連や今日的な課題に対応した研究を目指し検討を重ね、3度の中間報告を経て令和2年度からの新しい共同研究をスタートした。コロナ禍の中の研究活動の新しい船出であったが、札幌市小学校長会としての共同研究の在り方を改めて確認し、新しい研究組織の土台を創り上げる年となった

## 2. 研究計画

### 【研究主題】

- 共同研究主題

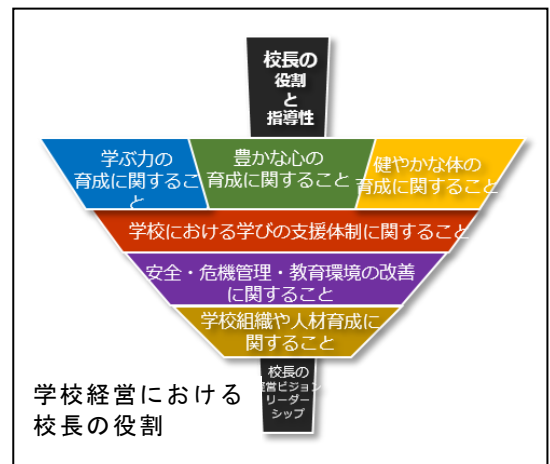
ともに未来を創造するたくましくしなやかな「さっぽろっ子」を育む

豊かで確かな小学校教育の実現

新研究主題の設定に当たって、今、私たちが大切にしたい研究内容は何なのかを明確にすることに着手した。「札幌市小学校長会のこれまでの7つの専門部研究」「札幌市小学校教育の重点」そして「全連小・道小の研究の視点」を、以下のような内容に整理した。

- ・日本が目指す教育や子どもたちの学習状況などをもとに、未来を生きる子どもたちの学ぶ力の育成に関すること
- ・人権やいじめ、不登校の諸課題への対応や自己指導能力の育成、札幌市の芸術・文化への愛着など豊かな心の育成に関すること
- ・オリンピックシティに生まれ育つ子どもたちが、生涯にわたって健康でスポーツを愛し、関わり続ける健やかな体の育成に関すること
- ・共生社会の形成に向け、全ての子どもに、豊かに生きる力を育む学びの支援に関すること
- ・情報管理を含めた施設の在り方やプログラミング教育などの推進に関すること
- ・非常時の対応など、施設の安全管理とその対応や危機管理に関すること
- ・働き方改革や教頭・職員の人材育成、職員の健康・メンタルヘルス等に関すること
- ・一貫教育や札幌らしい教育など、喫緊の今日的な課題に関すること

次に、学校経営における校長の役割と指導性について改めて整理し、右の図のような「コマ」に表した。それぞれの学校において、揺れることなく安定して回り続けるためには、この6つの取組がバランスよく機能することが大切であり、同時にぶれない確かな軸がなければならない。このコマの軸となるのが私たち校長の経営ビジョンやリーダーシップである。校長一人一人のパーソナリティや情熱、職能がコマをまわす「ひも」となって組織に活力を与えることが何より大切である。従って、全ての専門部における研究は、この軸を確かなものにするに集約されることと確認した。



## 【研究組織】

新研究主題と、改めて整理した研究内容をもとに、専門部を7つから6つに改編し以下のような組織とした。

(1) 共同研究推進委員会（年間8回開催・委員数18名）

6専門部の研究推進委員と研究部、担当副会長により、各専門部が研究内容等を交流・協議することを通して、相互に連携を強化し、実践的な研究を企画・運営・推進する。

(2) 専門部研修会

「学ぶ力」育成部、「豊かな心」育成部、「健やかな体」育成部、学びの支援部、教育環境部、人材育成部の6部で構成。各部ごとにテーマ・重点を設定し研究活動を行う。

(3) 支部研修会

行政区の10区を支部とし、学校経営に必要な研修や情報交換などに取り組む。

## 【全市的研究の交流と発表】

(1) 4月総会・研修会 令和2年4月21日（火）※コロナ禍により中止

(2) 10月研修会 令和2年10月19日（月）※コロナ禍により誌上研修会として実施

(3) 研究大会 令和3年2月4日（木）※コロナ禍により中止

(4) 3月総会・研修会 令和3年3月4日（木）

## 【研究広報の発行】

共同研究の進捗状況と各専門部の調査・研究内容を全会員に伝えるため、事務局研究部が研究広報「鏈（つながり）」を作成し、共同研究推進委員会報告として、理事研修会を通して、各支部へと還流する。

## 3. 研究活動

今年度は、各専門部の研究内容・推進体制の土台を築くとともに、新型コロナウイルス感染予防の取組「※」についても、各部の研究内容からアプローチし共有を進めた。

コロナ禍のため、各専門部や支部が会して研究活動を進められない時期もあり、メール等WEBを活用した研修会も行われた。

各部の研究内容や重点を、共同研究推進委員会で共有・検討し、それぞれの部が札幌市全体の共同研究の一端を担い、全会員に還流する研究体制の構築を進めた。

「学ぶ力」育成部	「学ぶ力」の育成に関すること （「学ぶ力」育成プログラム、授業改善、家庭との連携など） * 教育課程の編成、教科等の指導の配慮事項等
「豊かな心」育成部	「豊かな心」の育成に関すること （道徳、命を大切にする指導、いじめ・人権に関する指導、行事・特別活動の指導、教育相談など） * 生命尊重、偏見・差別、感謝等
「健やかな体」育成部	「健やかな体」の育成に関すること （「健やかな体」育成プログラム、体力・運動能力の向上、健康・安全、食育・性に関する指導など） * 感染予防、体育学習の工夫、運動・生活習慣、運動会等
学びの支援部	子どもの支援に関すること （教育的ニーズに応じた連続性のある学びの場、合理的配慮、特別支援教育、不登校、帰国・外国人児童生徒への指導など） * 登校不安、自宅での学習サポート、虐待対応等
教育環境部	環境整備・安全・危機管理に関すること （学校施設、学校予算、地域・校種間との連携、情報管理など） * 3密を回避する環境配慮（場所、時間、換気）、ICTの活用等
人材育成部	人材育成、働き方改革等に関すること （指導力向上・研修・指導体制、教頭・ミドルリーダー育成、校内人事・校内組織、外部人材活用・メンタルヘルスなど） * 健康管理・ヘルスケア、教職員研修、在宅勤務

## 4. おわりに

コロナ禍での新しい研究のスタートの年となった。このような状況であるからこそ、正しい情報と根拠に基づく校長の経営手腕が問われる。次年度、6つの新専門部において、それぞれの視点から私たち校長の役割と指導性について追究していくと共に、自主的・主体的な取組の交流を図り、職能の向上や、札幌の小学校教育の充実に向け、研究の深化・発展に努めていきたい。